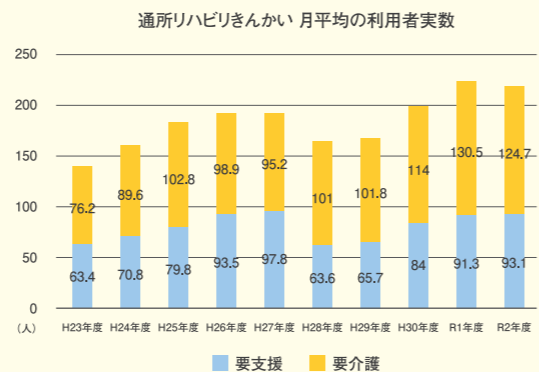


数字でみる錦海リハ

過去10年間に於ける通所リハビリセンターの利用者実数の推移

通所リハビリテーションセンターの過去10年間に於ける利用者実数の推移を確認すると、月平均の要介護利用者実数は平成23年度の76.2人から令和2年度には1.6倍の124.7人となりました。要支援利用者実数も平成23年度の63.4人から令和2年度には1.4倍の93.1人となりました。

今後も多くの皆様に安心してご利用いただけるよう、引き続き感染対策を徹底しつつ、更なるリハビリテーション・ケアの充実と質向上を目指してまいります。



オンライン資格確認のご紹介

マイナンバーカードを健康保険証として利用することができる「マイナ受付」を開始しました!

マイナンバーカードを健康保険証として利用することができる「マイナ受付」を開始しました。受付に設置してあります顔認証付カードリーダーにマイナンバーカードをかざすことで利用できます。マイナンバーカードの保険証利用に当たっては、事前にマイナポータルを通じた利用申込が必要となりますのでお申し込みをお願いいたします。手続きがお済でない患者様は従来通り保険証の提示をお願いいたします。ご不明な点等はお気軽に事務受付にお声がけください。



受付に設置してあります顔認証付カードリーダー

専門雑誌・書籍掲載

- 香川美香(看護師・看護部主任)
ゴール・目標についての家族とのズレ
リハビリナース2021年秋増刊号「回復期リハ病棟の失敗する介入×成功する介入」、メディカ出版、2021.09
- 坂根嘉奈子(看護師・看護部主任)
ケアプラン
リハビリナース2021年秋増刊号「回復期リハ病棟の失敗する介入×成功する介入」、メディカ出版、2021.09

外部講演

- 善波吉人(社会福祉士・事務局長兼地域医療連携室室長)
回復期リハビリテーション病棟における地域連携
やさしい手ウェブセミナー、やさしい手主催、2021.4.12、オンライン開催
- 今田健(理学療法士・リハビリテーション技術部長、法人本部リハビリテーション統括部長・在宅事業本部室長)
好事例を生む4軸運営に基づくリハリストスタッフの教育
やさしい手ウェブセミナー、やさしい手主催、2021.5.7、オンライン開催
- 北山朋宏(作業療法士・リハビリテーション技術部課長)
生涯教育制度2020の概要と解説
令和3年度鳥取県作業療法士会総会後研修会、鳥取県作業療法士会主催、2021.5.16、オンライン開催
- 藤井春美(看護師・副院長)
人材育成の基礎知識、人材育成の方法
認定看護管理者ファーストレベル教育課程研修「人材管理Ⅰ」、鳥取県看護協会主催、2021.5.29、鳥取市
- 角田賢(医師・病院長)
今、PT・OT・STに求められている知識と行動とは
2021年度第52回PTOTST研修会、回復期リハビリテーション病棟協会主催、2021.6.12、オンライン開催
- 北山朋宏(作業療法士・リハビリテーション技術部課長)
作業療法生涯教育概論
令和3年度前期現職者共通研修会、鳥取県作業療法士会主催、2021.7.25、オンライン開催
- 北山朋宏(作業療法士・リハビリテーション技術部課長)
身体介助の方法
令和3年度鳥取県失語症者向け意思疎通支援者養成研修会、鳥取県主催、2021.8.21、松江市

- 平野正樹(作業療法士・リハビリテーション技術部主任)
身体介助の方法
令和3年度鳥取県失語症者向け意思疎通支援者養成研修会、鳥取県主催、2021.8.21、松江市
- 三好綾(言語聴覚士)
失語症概論、コミュニケーション支援技法
令和3年度鳥取県失語症者向け意思疎通支援者養成研修会、鳥取県主催、2021.9.26、米子市

学会発表

- 足立睦未(理学療法士)
RELATIONSHIP WITH MOTOR IMAGERY ABILITY IN 10 METER WALKING IN PARTICIPANTS WITH STROKE AND SPACE OF LIFE AFTER DISCHARGE
World Physiotherapy Congress 2021 online、World Physiotherapy主催、2021.4.9-11、オンライン開催(ドバイ)
- 鳥谷香蓮(理学療法士)
RELATIONSHIP BETWEEN THE NUMBER OF FAMILY VISITS DURING PHYSICAL THERAPY AND THE RETURN TO HOME RATE IN CONVALESCENT REHABILITATION WARD
World Physiotherapy Congress 2021 online、World Physiotherapy主催、2021.4.9-11、オンライン開催(ドバイ)
- 遠藤美紀(理学療法士)
HOME-VISIT-AFTER-DISCHARGED AS COMMUNITY-BESED-REHABILITATION FOR INVESTIGATING OF LIVING SPEASE-SINGLE STUDY
Rehabilitation International World Congress 2021 online、Rehabilitation International主催、2021.9.7-9、オンライン開催(デンマーク)
- 原田あゆ美(作業療法士)
回復期脳卒中患者における肩関節亜脱臼に対する上肢用ロボット型運動訓練装置Reago-J使用の試み
第55回日本作業療法学会、日本作業療法士協会主催、2021.9.10-11、オンライン開催

※氏名、職員の肩書は掲載、開催時点のものであり現在は変更があります。

診療方針：わたしたちは回復期リハビリテーション医療と地域連携を通して患者さんの社会参加を支援します。

錦海リハビリテーション病院
〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-4-5
TEL 0859-34-2300【代表】
FAX 0859-34-2303



KINKAI REHABILITATION HOSPITAL NEWS



錦海リハビリテーション病院ニュース

発行：社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院

TEL：0859-34-2300【代表】
E-mail：kinkai-hp@kohoen.jp
URL：https://www.kinkai-rehab.jp

2021 VOL. 14

SPECIAL 最前線 1

病院機能評価 更新受審報告

より良い医療を提供できる病院となるために

病院機能評価の最初の受審から6年、コロナ禍で1年延期となりましたが、無事に2回目の受審ができました。この間、様々な出来事がありました。振り返ってみると毎年のように何かにチャレンジしてきた6年間でしたが、これらはすべてより良い医療を提供できる病院となるための活動と考えています。



訪問審査当日のケアプロセス調査にて、対象症例の入院から退院までの流れに沿って、各職種の専門性やチーム一体となったリハビリ・ケアの実践状況を説明している様子。前列左より角田賢 病院長、花本知栄 社会福祉士

「良い医療機関」「良い回復期リハビリテーション病棟」とはなんでしょうか。豪華な建物、きれいな病室、最新の医療機器、スタッフ数、365日リハ実施、在宅復帰率、実績指数...様々な基準で評価が行われています。書店に行くと病院に順位を付けた本まで売られています。読んでみるといったいその順位は何を基準につけたのか?と疑問に思うものも少なくありません。診療報酬制度でも2000年の制度スタート時には1種類であった回復期リハビリテーション病棟入院料が今では6段階まで細分化されています。近年の診療報酬ではアウトカム評価としての実績指数に重きを置く流れとなっていますが、2022年の診療報酬改定の議論の中でも正確な評価が行われているのが問題となっています。



同じくケアプロセスの様子。前列左より池内善 作業療法士(対象症例サブリーダー)、高橋咲 看護師、松本昌樹 理学療法士

回復期リハビリテーション医療の充実にはチームの総合力がなにより必要

より良い医療機関、質の高い回復期リハビリテーション医療を提供する病院を実現していくために病院機能評価を受審しました。第3者の目で見ただいたことで、全国の水準の中で我々の取り組みが妥当なものであるか、改善すべき点は何かを明確にできました。初回認定後の6年間、当院では「機能評価チーム会」を受審後も継続して定期的に開催し、前回受審時に指摘された要改善ポイントを一つずつ修正してきました。さらにバージョンアップや、前回の「付加機能」から「高度専門機能」へとグレードアップされる中で求められた新たな内容への対応を職員で課題を共有し、改善点を探ってきました。今回の2回目の受審は、この6年間の活動を客観的な視点で評価していただいたということもできるでしょう。

回復期リハビリテーション医療の充実にはチームの総合力がなにより必要です。今回の機能評価への取り組みそのものがチーム力アップに繋がりました。今回の受審でまた新たな要改善点が指摘されました。次の5年間の我々の宿題となります。質向上、改善の活動に終わりはありません。一生懸命取り組んでも新たな課題が発見されます。これらの課題は一人の力でどうにかなるものではなく、病院全体で一つのチームとして改善に取り組み続けていきたいと思えます。

社会福祉法人 こうほうえん
錦海リハビリテーション病院
病院長 角田 賢

SPECIAL 最前線 2

病院機能評価 更新受審報告

病院機能評価、更新受審までの道のり

病院機能評価は、組織全体の運営管理及び提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行う、公益財団法人日本医療機能評価機構による第三者評価の仕組みです。当院は平成27年10月の初回認定以後も、評価項目ごとに示された評価結果を基に改善活動を展開してまいりました。特に高い水準で評価される「付加機能」については、昨年10月に「高度・専門機能」と名称を新たにし、現在の医療情勢に適した内容へと改定されたことをうけ、それに相応しい回復期リハビリテーション提供体制の構築にも努めてまいりました。

訪問審査当日、更新受審を終えて

更新受審として、書類審査に加えて、8月25日～27日の3日間に渡ってサーベイヤー（評価調査者）による訪問審査を受けました。当日は「病院機能評価」83項目、「高度・専門機能」42項目の計125の評価項目について、書類確認、面接調査、部署訪問、ケアプロセス、模擬カンファレンス、カルテレ뷰により、当院の取り組みを細部まで審査いただきました。

SPECIAL 最前線 3

通所リハビリテーションきんかいのご紹介

病院併設のリハビリに特化した短時間型の通所リハビリテーションです

錦海リハビリテーション病院併設の通所リハビリテーション事業所として、療法士によるリハビリテーションに特化したサービスを提供しています。

利用時には血圧や体温等の測定、病気がけがなどの状態もよく確認させていただいて、体調や体力に応じたきめ細かいリハビリテーションを提供するなど、医師や看護師などの医療職によるサポートの充実にも努めています。要介護認定を受けた方には、リハビリテーション科医師もリハビリテーション会議（利用開始時6ヵ月は毎月、その後は3ヵ月に1回）へ参加し、その他スタッフ、利用者ご自身と共に計画内容の検討も行っています。



介護福祉士がパワーリハビリの指導を行っている様子



理学療法士による歩行訓練の様子

新型コロナウイルス感染症が感染拡大するなか、止むを得ず1年間更新受審を延期することとなりましたが、この間に様々な感染対策も講じつつ無事更新受審を終えることができました。最終的な審査結果報告が届くには今しばらく時間がかかりますので、評価結果の詳細については改めて当院の広報誌やホームページでも公開させていただきたいと思っています。

患者さんやご家族、職員にとって、より魅力のある病院で有る為、今後も変わることなく病院機能評価を活用した改善活動を継続してまいります。



担当チームによる模擬カンファレンスの様子



訪問審査終了後のサーベイヤーによる講評と意見交換の様子

また、新型コロナウイルス感染症における感染対策の一環として、現在はサービス提供時間を概ね各2時間程度に短縮させていただき、利用時間の分散によって3密を回避するなどの対策も講じています

対象：要支援1・2、または要介護1～5の介護認定を受けた方
営業日：月曜～金曜

リハビリを通じて、一人ひとりの在宅生活を支えます



理学療法士がご自宅へ訪問し動作指導を行っている様子

すべての利用者に対して、リハビリテーション科医師の指示の下、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかのスタッフが1対1の個別リハビリテーションを提供しています。利用を開始される際には、療法士がご自宅に訪問して、一人ひとりの生活に沿ったより良い動作や介助の方法も提案しています。その他、看護師・介護福祉士などによる体操や自主練習のお手伝い、必要に応じて管理栄養士による栄養に関するアドバイスも行っています。

SPECIAL 最前線 4

理学療法部門の女性3名が2つの国際学会で発表

遠藤美紀 理学療法士

私は9月にオンライン開催されたRehabilitation International World Congress 2021（中継地：デンマーク）にて演題発表を行いました。私は海外に行くこと自体が不安でなかなか挑戦できずにはいましたがオンラインであれば日本を離れずに参加でき、質問は学会内のメールシステムを使用とのことで辞書を片手に対応できると思い女性の後輩2名と一緒に挑戦を決め、発表にこぎつけることができました。

演題名：Home-visit-after-discharged as community-based-rehabilitation for investigating of living space - A single study.

回復期病棟入院当時の担当症例に対する24か月間に渡る退院後訪問調査を報告しました。即席で練習した英語ではありませんでしたが、無事に終わることができ、自分史をひとつ増やすことができました。

足立睦未 理学療法士

国際学会は英語に自信のない私には縁のないものと思っていました。部門ミーティングの中で、コロナ禍に伴い学会は世界的にオンライン開催が主流になり国際学会のハードルが下がっている点においては好機とも捉えられると聞き、「まずやってみよう（互恵互助より）」となりました。私はWorld Physiotherapy Congress（世界理学療法学会大会、WCPT）2021（中継地：ドバイ）にて発表しました。

演題名：Relationship with motor imagery ability in 10 meter walking in participants with stroke.

10m歩行時における運動想起に関する症例報告を行いました。時差で発表

TOPICS 01 鳥取大学医学部附属病院とのリハビリ職員相互派遣による人事交流

国立大学法人鳥取大学と社会福祉法人こうほうえんは、職員派遣協定を結び、令和3年4月1日より鳥取大学医学部附属病院と錦海リハビリテーション病院との間でリハビリ職員の相互派遣による人事交流を再開しました。

当院からは言語聴覚士を鳥取大学医学部附属病院勤務へ出向させ、約3ヵ月間にわたる勤務によって急性期リハビリテーションを経験させていただきました。逆に鳥取大学医学部附属病院の理学療法士を当院で受け入れ、回復期・生活期を担う現場で勤務いただきました。

本事業の目的は、互いの病院職員が日頃経験することができない急性期・回復期・生活期までの幅広いリハビリテーション医療の知識と経験を得ること、急性期から生活期までの切れ目ない連携の充実に繋げていくことも期待しています。



鳥取大学医学部附属病院
松本直也 理学療法士
「回リハ病棟における退院に向けた多職種協働の様々な取り組みや、ケア、訪問リハについて体験を通して知ることができました。」



錦海リハビリテーション病院
山崎悠貴 言語聴覚士
「急性期医療を経験し、回復期における言語聴覚士としての役割、生活期につなぐためのリハビリの重要性を再認することができました。」

時間が夜間になるなどこれまでの当たり前と異なる学会参加になりました。学会後の復命書作成のために学会サイトを見返すと、学会終了のお礼（査読者一覧）の中に今田次長の名前があり（日本人査読者は8名）、意外な一面を知り驚きました（<https://congress.physio/2021/programme/thanks>）。

鳥谷香蓮 理学療法士

私は当院の実習生でした。入職希望の契機は上司や先輩のようにいつかは私も学会発表してみたい、できれば互恵互助にもあるように国際学会も経験してみたいと思ったことでした。

WCPTがオンラインに変更され、心理的な壁が下がった話を先輩方としていううちに、「絶好のタイミングでは！」と盛り上がり実現になりました。

演題名：Relationship between the number of family visits during physical therapy session in the convalescent rehabilitation ward and the return to home rate.

リハビリ時間に家族の参加が得られることがその後の自宅復帰にいかにか重要になるかを347例の調査より報告しました。参加時間はもとより、参加費が現地通貨であったりなど、些細なことですが新鮮な学びを得ることができました。



前列左より遠藤美紀、足立睦未、
後列左より鳥谷香蓮、今田健 リハビリテーション技術部次長兼法人リハビリテーション統括部 次長

TOPICS 02 米子西高生徒さんによるリモートでの事業所訪問

9月17日、鳥取県立米子西高等学校2年生による、みらいチャレンジ活動「探Q!アドベンチャータイム」と称した事業所訪問がありました。訪問先は生徒さんの興味や関心、進路希望によるとのこと、本年度は5名の生徒さんが当院を選ばれました。当日はコロナ感染警報が発令されていたためリモートでの開催となりました。

生徒さんからは事前にとても多くの質問を頂き、それに応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、私たちの仕事の役割や魅力を説明いたしました。生徒さんは熱心にメモをとりながら、話を聞いてくださいました。説明の後には「意欲を無くしてしまわれた患者さんにはどのように対応するか」という質問があり、リハビリテーションが人と人の関わりで成り立っていることが伝わったように感じられました。この度の意見交換が生徒さんの進路選択の一助となれば幸いです。



鳥取県立米子西高等学校2年生5名による、みらいチャレンジ活動「探Q!アドベンチャータイム」リモート事業所訪問